

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する 市民満足度調査

報 告 書

令和2年3月



目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1章 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査の目的 | 3 |
| 2. 調査の設計 | 3 |
| 3. 回収状況 | 3 |
| 4. 報告書を読む際の留意点 | 3 |
| 5. 標本誤差 | 4 |
| 6. 居住地域 | 5 |
| 第2章 調査結果の分析 | 7 |
| 1. 調査対象者の属性 | 9 |
| 2. 八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果 | 11 |
| 第3章 調査票 | 35 |

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

将来の人口減少対策として、今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける各事業に関連して、市民の満足度を把握することを目的に実施しました。

2. 調査の設計

- 調査対象 : 市内に在住の18歳以上の男女3,000人
 抽出方法 : 住民基本台帳より実際の年齢、性別、地域の人口割合に近い値となるように抽出しました。
 調査方法 : 郵送による配布・回収
 調査期間 : 令和元年12月27日～令和2年1月28日

3. 回収状況

| 抽出数 | 配布数※ | 有効回収数 | 有効回収率 |
|--------|--------|-------|-------|
| 3,000人 | 2,984人 | 967人 | 32.4% |

※宛先不明による返戻分16通を除く

4. 報告書を読む際の留意点

- 集計は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 基数となる実数は、「n」として表示しています。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- 統計数値を考察するにあたっての表現は、おおむね以下のとおりです。

| 例 | 表現 |
|------------|--------|
| 17.0～19.9% | 約2割 |
| 20.0～20.9% | 2割 |
| 21.0～22.9% | 2割を超える |
| 23.0～26.9% | 2割台半ば |
| 27.0～29.9% | 約3割 |

第1章 調査の概要

5. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（八千代市の18歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになります。

| 回答比率(P) n | 90%または 10%程度 | 80%または 20%程度 | 70%または 30%程度 | 60%または 40%程度 | 50%程度 |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------|
| 1,000 | ±1.90% | ±2.53% | ±2.90% | ±3.10% | ±3.16% |
| 967 | ±1.93% | ±2.57% | ±2.95% | ±3.15% | ±3.22% |
| 800 | ±2.12% | ±2.83% | ±3.24% | ±3.46% | ±3.54% |
| 600 | ±2.45% | ±3.27% | ±3.74% | ±4.00% | ±4.08% |
| 400 | ±3.00% | ±4.00% | ±4.58% | ±4.90% | ±5.00% |
| 200 | ±4.24% | ±5.66% | ±6.48% | ±6.93% | ±7.07% |
| 100 | ±6.00% | ±8.00% | ±9.17% | ±9.80% | ±10.00% |

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%です。

注／この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいいます。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表です。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が967であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.15%以内（56.85～63.15%）である」とみることができます。

6. 居住地域

居住地域別のクロス集計は、『八千代市地域コミュニティ推進計画』を参考にし、次のように集約して分析の軸としています。

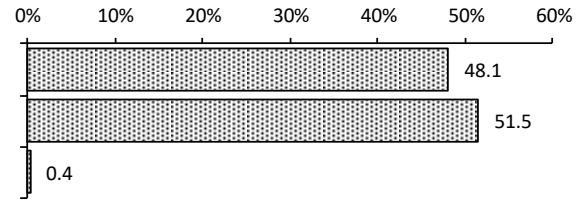
| 居住地区 | | 集約後の居住地域 |
|------------|---|----------|
| 大和田地区 | } | 大和田地域 |
| ゆりのき台地区 | | |
| 大和田新田(A)地区 | | |
| 大和田新田(B)地区 | } | 高津・緑が丘地域 |
| 高津・緑が丘地区 | | |
| 高津団地地区 | | |
| 八千代台東南地区 | } | 八千代台地域 |
| 八千代台西北地区 | | |
| 勝田台地区 | → | 勝田台地域 |
| 村上地区 | } | 村上地域 |
| 村上団地地区 | | |
| 阿蘇地区 | } | 阿蘇地域 |
| 米本団地地区 | | |
| 睦地区 | → | 睦地域 |

第2章 調査結果の分析

1. 調査対象者の属性

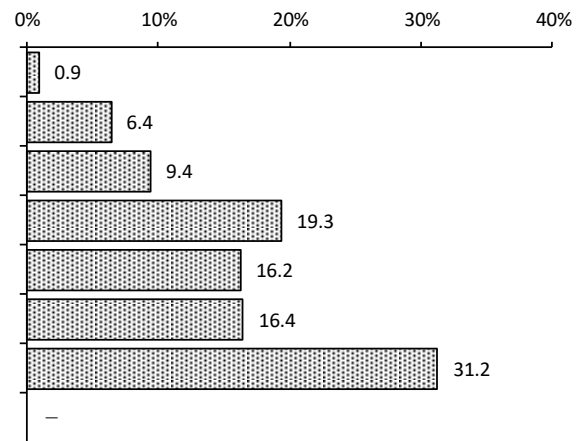
(1) 性別

| 項目名 | n | 構成比 (%) |
|-----|-----|---------|
| 男 | 465 | 48.1 |
| 女 | 498 | 51.5 |
| 無回答 | 4 | 0.4 |
| 全体 | 967 | 100.0 |



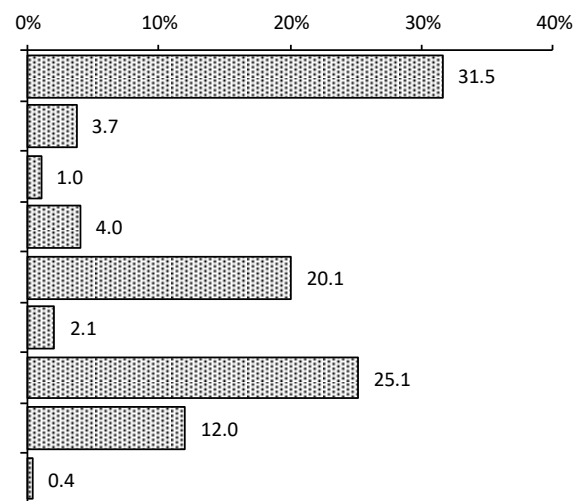
(2) 年齢

| 項目名 | n | 構成比 (%) |
|--------|-----|---------|
| 18～19歳 | 9 | 0.9 |
| 20～29歳 | 62 | 6.4 |
| 30～39歳 | 91 | 9.4 |
| 40～49歳 | 187 | 19.3 |
| 50～59歳 | 157 | 16.2 |
| 60～69歳 | 159 | 16.4 |
| 70歳以上 | 302 | 31.2 |
| 無回答 | - | - |
| 全体 | 967 | 100.0 |



(3) 職業

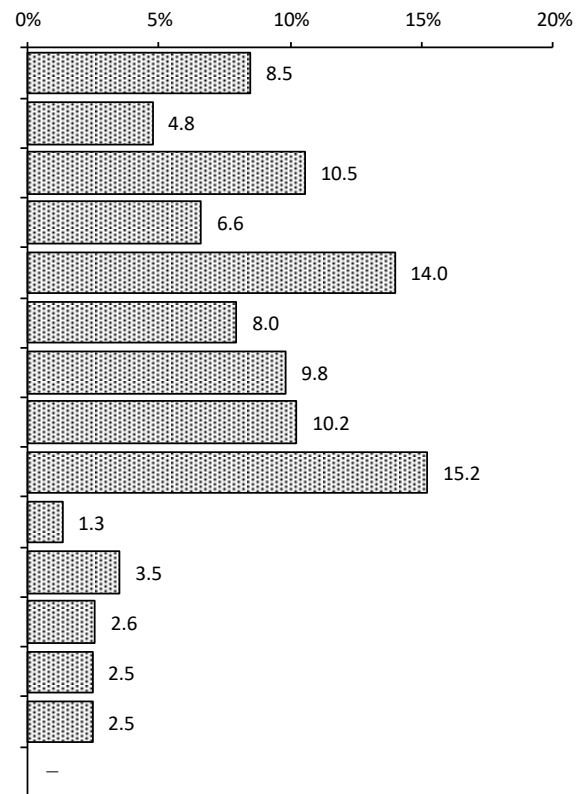
| 項目名 | n | 構成比 (%) |
|---------|-----|---------|
| 会社員 | 305 | 31.5 |
| 自営業 | 36 | 3.7 |
| 農業 | 10 | 1.0 |
| 公務員 | 39 | 4.0 |
| 専業主婦・主夫 | 194 | 20.1 |
| 学生 | 20 | 2.1 |
| 無職 | 243 | 25.1 |
| その他 | 116 | 12.0 |
| 無回答 | 4 | 0.4 |
| 全体 | 967 | 100.0 |



第2章 調査結果の分析

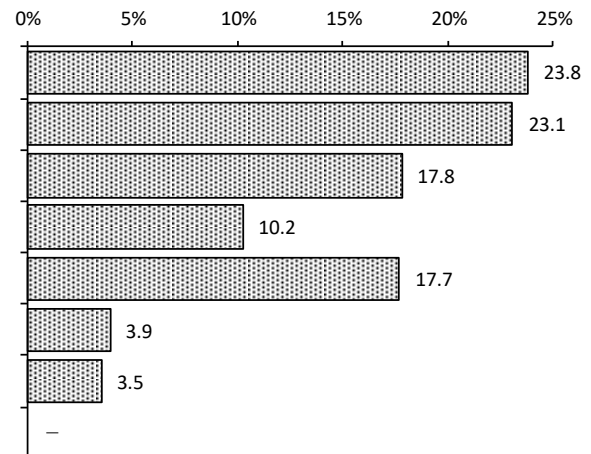
(4) 居住地区

| 項目名 | n | 構成比 (%) |
|--------------|-----|---------|
| 大和田地区 | 82 | 8.5 |
| ゆりのき台地区 | 46 | 4.8 |
| 大和田新田 (A) 地区 | 102 | 10.5 |
| 大和田新田 (B) 地区 | 64 | 6.6 |
| 高津・緑が丘地区 | 135 | 14.0 |
| 八千代台東南地区 | 77 | 8.0 |
| 八千代台西北地区 | 95 | 9.8 |
| 勝田台地区 | 99 | 10.2 |
| 村上地区 | 147 | 15.2 |
| 阿蘇地区 | 13 | 1.3 |
| 睦地区 | 34 | 3.5 |
| 米本団地地区 | 25 | 2.6 |
| 高津団地地区 | 24 | 2.5 |
| 村上団地地区 | 24 | 2.5 |
| 無回答 | - | - |
| 全体 | 967 | 100.0 |



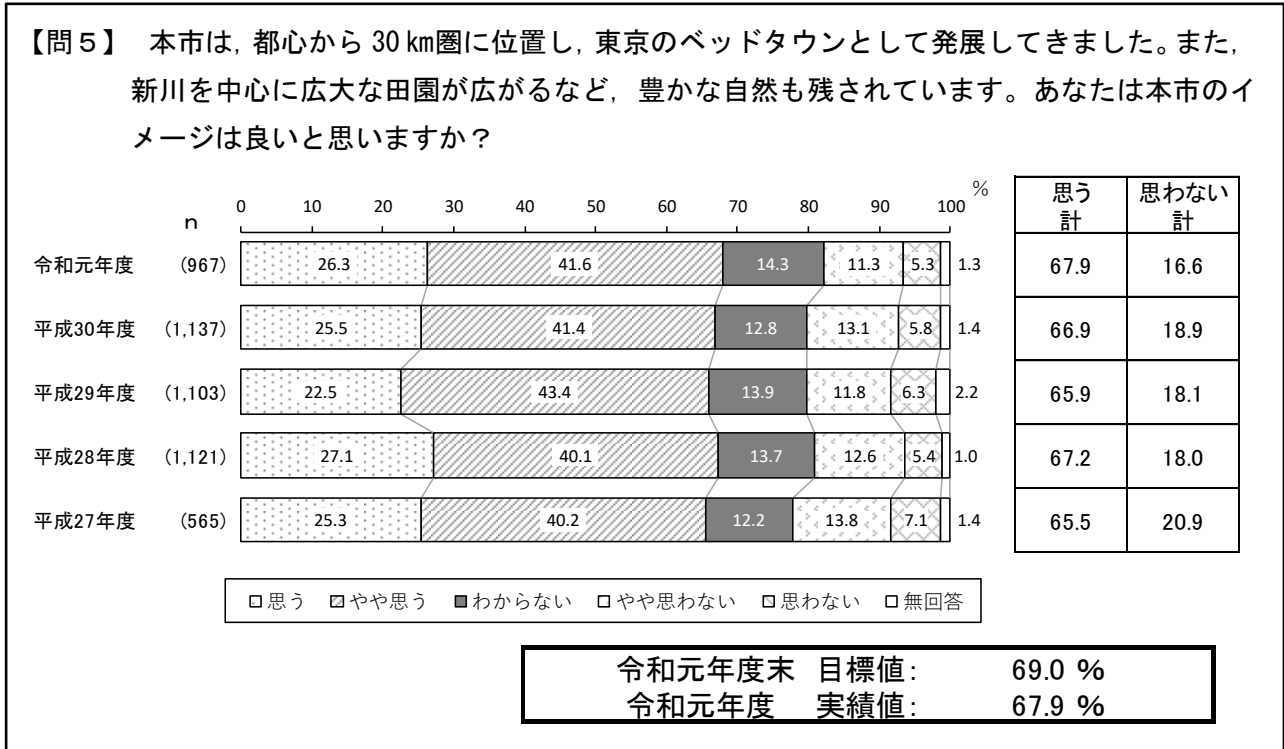
【(再掲) 7地域】

| 項目名 | n | 構成比 (%) |
|----------|-----|---------|
| 大和田地域 | 230 | 23.8 |
| 高津・緑が丘地域 | 223 | 23.1 |
| 八千代台地域 | 172 | 17.8 |
| 勝田台地域 | 99 | 10.2 |
| 村上地域 | 171 | 17.7 |
| 阿蘇地域 | 38 | 3.9 |
| 睦地域 | 34 | 3.5 |
| 無回答 | - | - |
| 全体 | 967 | 100.0 |



2. 八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果

(1) 「八千代市のイメージ」について



本市のイメージが良いと思うかについては、「思う」(26.3%)、「やや思う」(41.6%)を合わせた<思う計>は67.9%となっており、「思わない」(5.3%)、「やや思わない」(11.3%)を合わせた<思わない計>の16.6%を大幅に上回っています。

平成30年度と比較すると、<思う計>は1.0ポイント増加し、前年に引き続き増加傾向にある一方、<思わない計>は減少傾向にあり、全体的に本市のイメージは良好の方向に少しずつシフトしているように見えます。

令和元年度末までの目標値69.0%に対して実績値が67.9%であり、達成率は98.4%です。

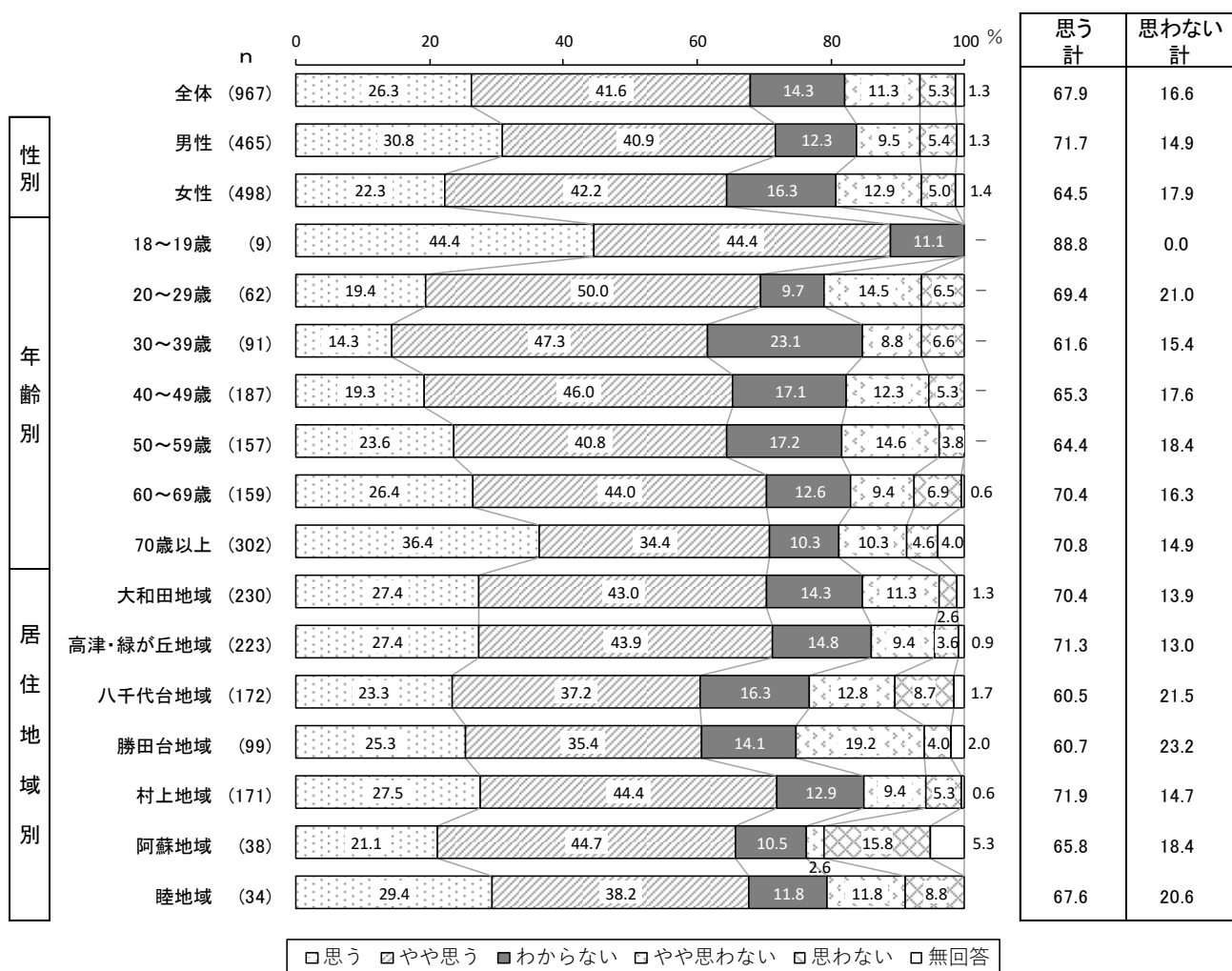
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思う 計〉の割合は、男性（71.7%）が女性（64.5%）を7.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は、70歳以上で70.8%と最も多くなっています。

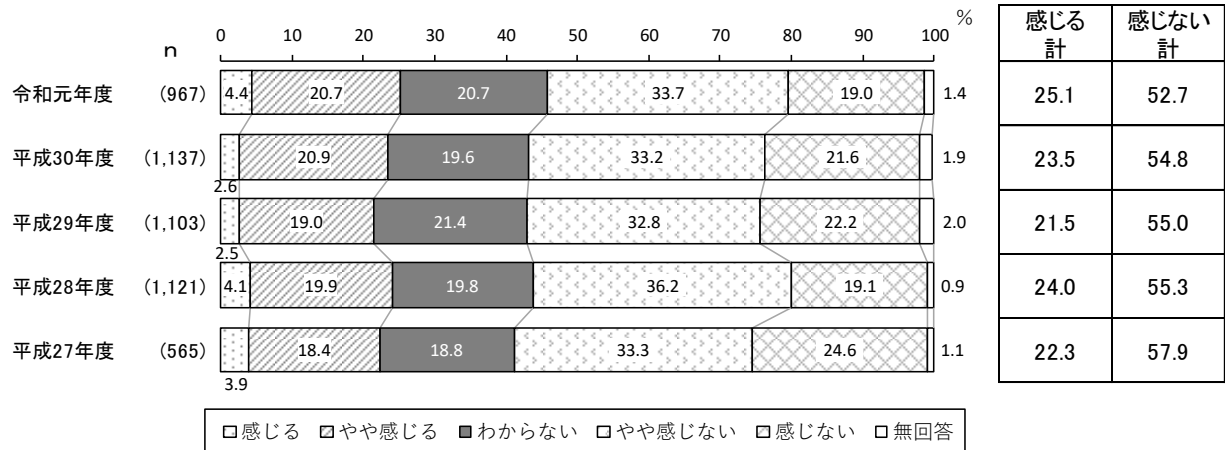
居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は、村上地域と高津・緑が丘地域で7割を超え、多くの人が本市のイメージを良く思っている一方、勝田台地域や八千代台地域をみると〈思わない 計〉がそれぞれ、23.2%、21.5%で、他の地域より本市のイメージを良く思っていない人の割合が多い結果となっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(2)「八千代市の活性化」について

【問6】 まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？



| | |
|-------------|--------|
| 令和元年度末 目標値: | 30.0 % |
| 令和元年度 実績値: | 25.1 % |

本市が活性化していると感じるかについては、「感じる」(4.4%)、「やや感じる」(20.7%)を合わせた<感じる 計>は25.1%にとどまり、「感じない」(19.0%)、「やや感じない」(33.7%)を合わせた<感じない 計>が52.7%と半数を超えており、まちが活性化していると感じていない人の割合が多い結果となっています。

平成30年度と比較すると、<感じない 計>は2.1ポイント減少し、<感じる 計>は1.6ポイント増加しており、わずかずつですが活性化をしていると感じる割合が増えています。

令和元年度末までの目標値30.0%に対して実績値が25.1%であり、達成率は83.7%です。

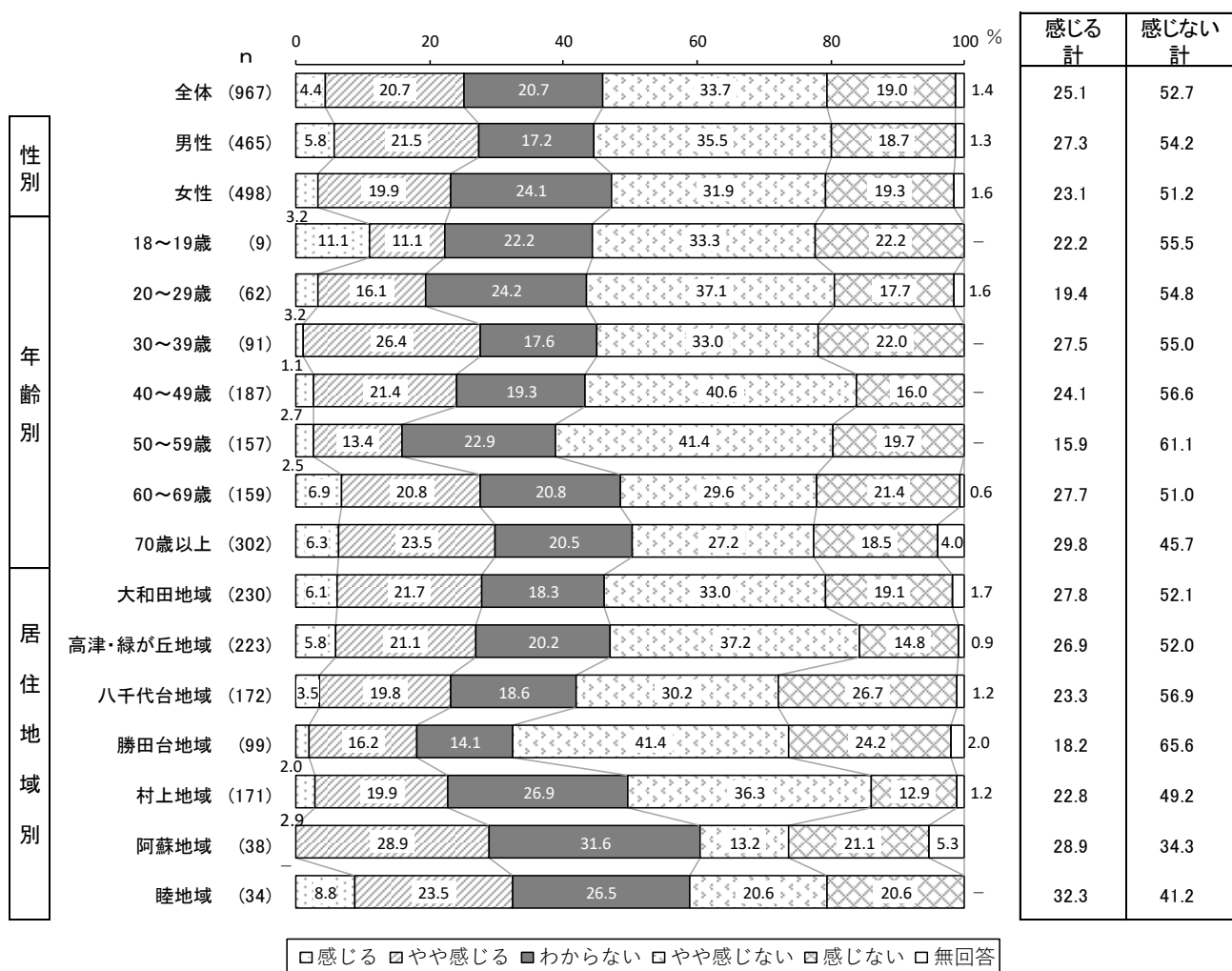
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈感じる 計〉の割合は、男性（27.3%）が女性（23.1%）を4.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈感じる 計〉の割合は、70歳以上で29.8%と最も多く、60～69歳が27.7%、30～39歳が27.5%で続いています。

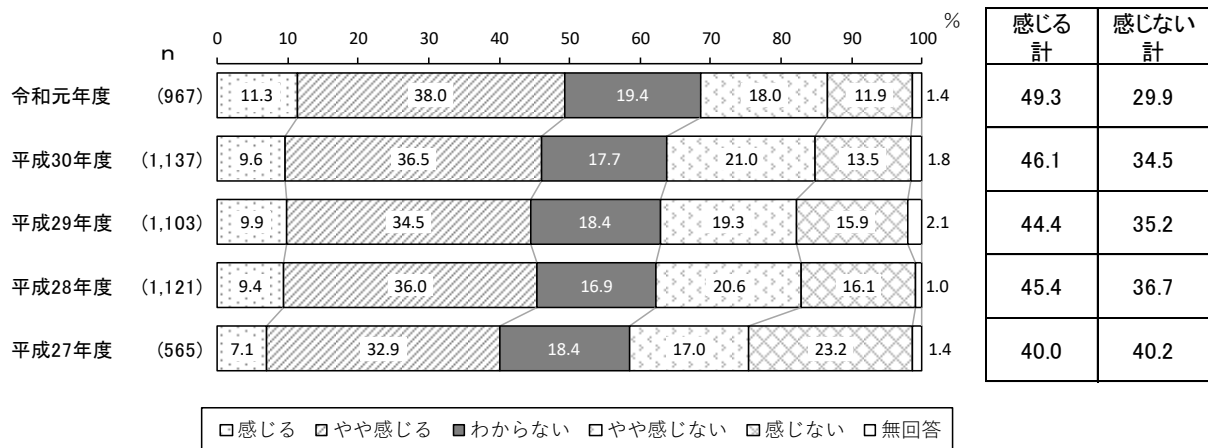
居住地域別にみると、〈感じる 計〉の割合は陸地域で32.3%と最も多くなっています。〈感じない 計〉の割合は勝田台地域で65.6%と最も多く、次いで八千代台地域の56.9%となっており、活性化していないと感じている地域は、問5の本市のイメージを良く思っていない地域と同様の結果となっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(3)「新川周辺の活性化」について

【問7】 市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？



| | | |
|--------|------|--------|
| 令和元年度末 | 目標値: | 44.0 % |
| 令和元年度 | 実績値: | 49.3 % |

新川周辺が活性化していると感じるかについては、「感じる」(11.3%)、「やや感じる」(38.0%)を合わせた<感じる 計>は49.3%と約5割となっています。「感じない」(11.9%)、「やや感じない」(18.0%)を合わせた<感じない 計>は29.9%で、<感じる 計>が<感じない 計>を19.4ポイント上回っています。

平成30年度と比較すると、<感じる 計>は3.2ポイント増加しています。

令和元年度末までの目標値44.0%に対して実績値が49.3%であり、達成率は112.0%です。

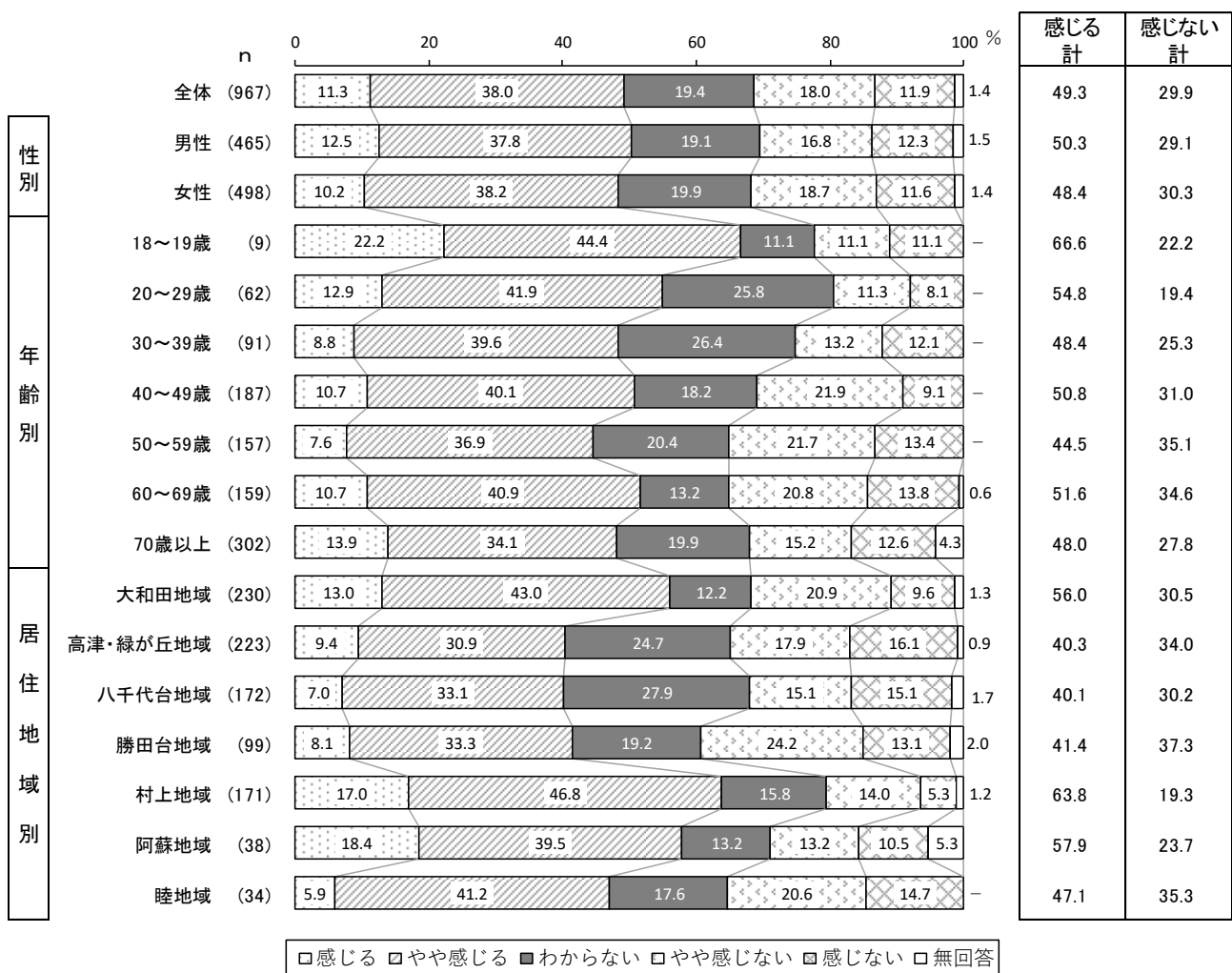
第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は、男性（50.3%）が女性（48.4%）を1.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は、20～29歳、40～49歳、60～69歳で半数を超え、他の年代より多くなっています。一方で、＜感じない 計＞の割合は、40～49歳、50～59歳、60～69歳で3割を超えています。

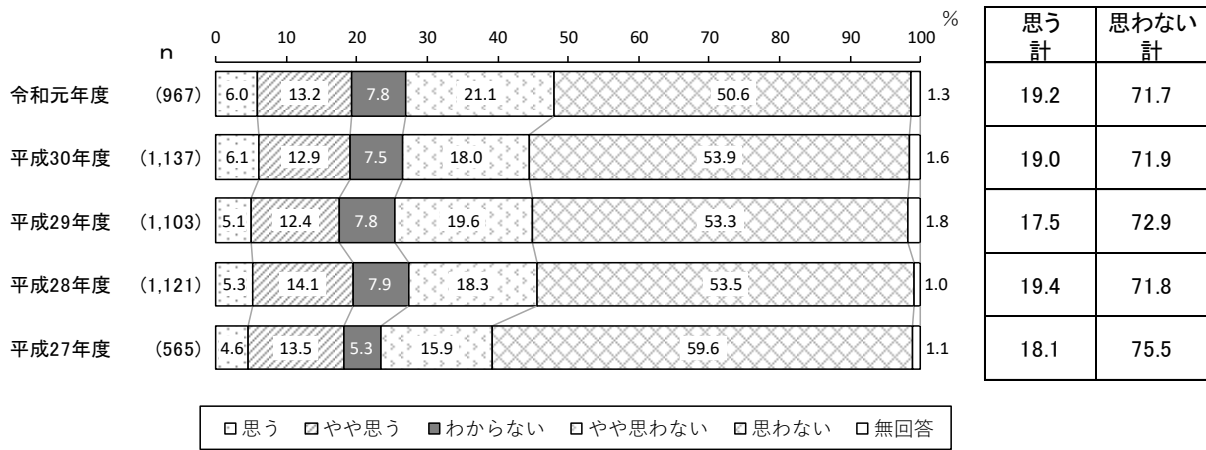
居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は、新川に直接面する村上地域、阿蘇地域、大和田地域でそれぞれ63.8%、57.9%、56%と特に多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(4)「地域活動」について

【問8】 地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していますか？



| 思う計 | 思わない計 |
|------|-------|
| 19.2 | 71.7 |
| 19.0 | 71.9 |
| 17.5 | 72.9 |
| 19.4 | 71.8 |
| 18.1 | 75.5 |

| | |
|-------------|--------|
| 令和元年度末 目標値: | 50.0 % |
| 令和元年度 実績値: | 19.2 % |

積極的に地域活動に参加していると思うかについては、「思わない」(50.6%)が5割を占め、「やや思わない」(21.1%)を合わせた<思わない 計>は71.7%となっており、参加の程度は低い状況です。

平成30年度と比較すると、<思う 計>は0.2ポイントの増加、<思わない 計>0.2ポイントの減少と、わずかではありますが改善の方向にあります。

令和元年度末までの目標値50.0%に対して実績値が19.2%であり、達成率は38.4%と低い状況となっています。

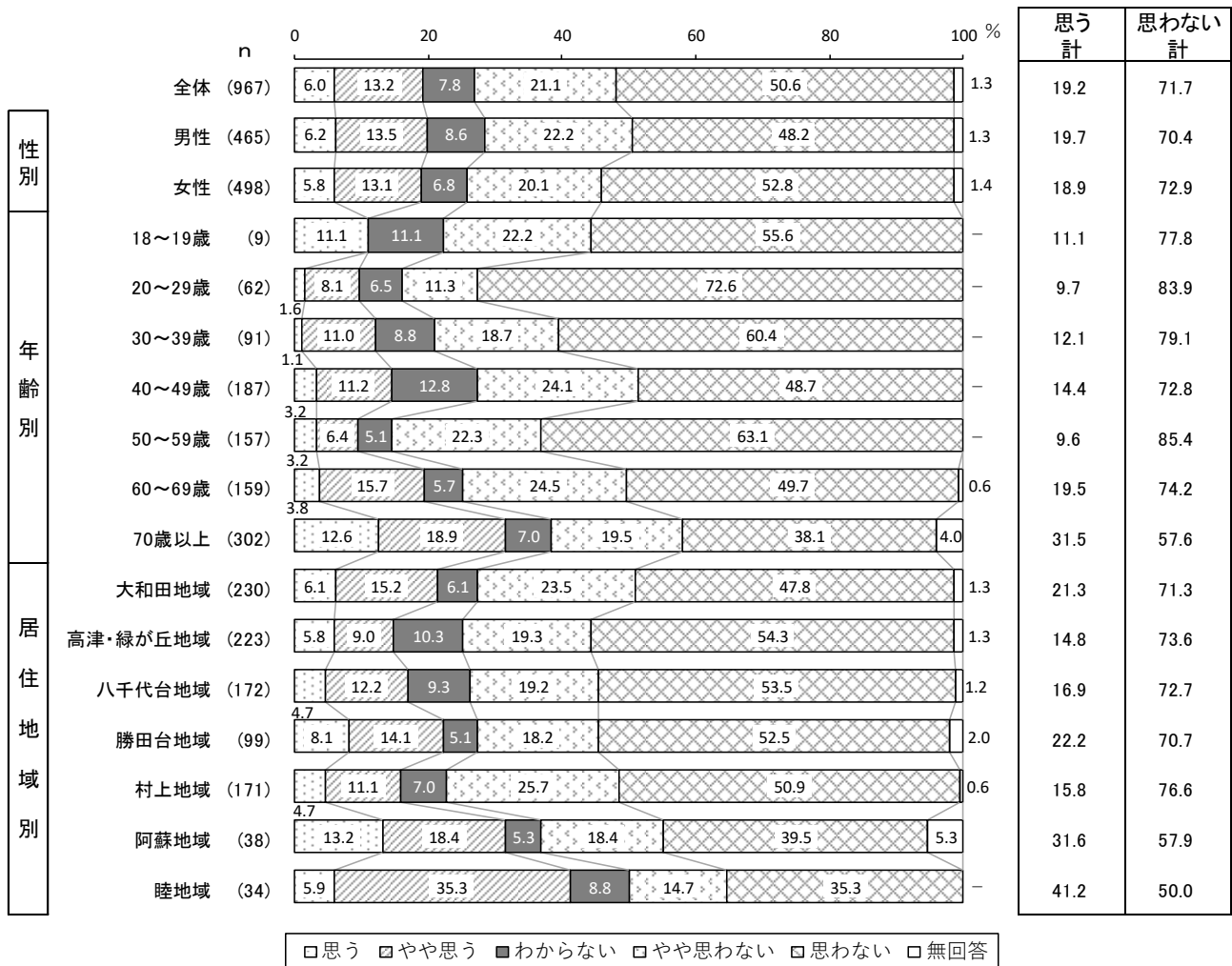
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思う 計〉の割合は、男性（19.7%）が女性（18.9%）を0.8ポイント上回る一方、〈思わない 計〉の割合は、女性（72.9%）が男性（70.4%）を2.5ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は、70歳以上では31.5%と最も多くなっています。

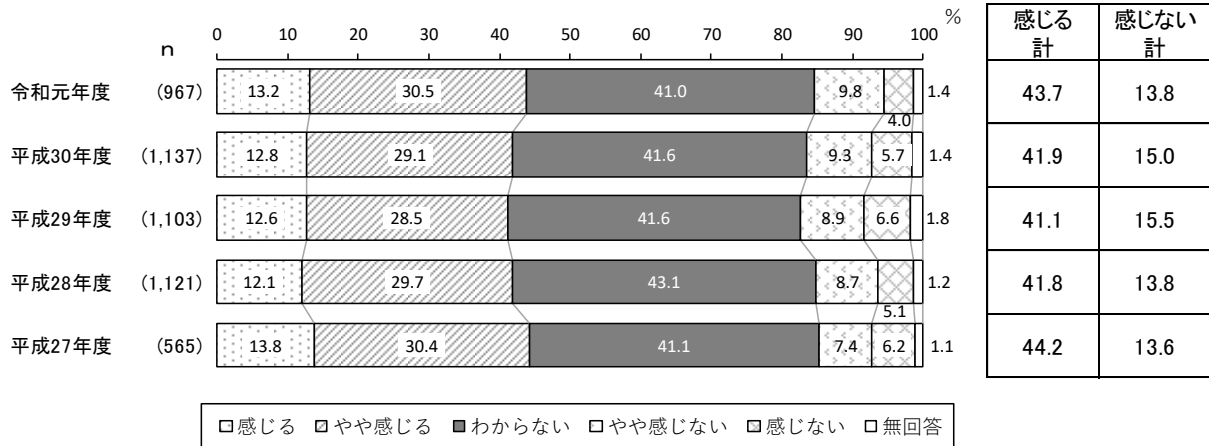
居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は、睦地域、阿蘇地域でそれぞれ、41.2%、31.6%と多く、〈思わない 計〉の割合は、村上地域で76.6%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(5)「地域消防・救急体制」について

【問9】 市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？



令和元年度末 目標値: 50.0 %
令和元年度 実績値: 43.7 %

本市の地域消防・救急体制が整っていると感じるかについては、「感じる」(13.2%)、「やや感じる」(30.5%)を合わせた<感じる 計>の割合は43.7%となっています。また、「わからない」も41.0%と多くなっています。

平成30年度と比較すると、<感じる 計>は1.8ポイントの増加、<感じない 計>は1.2ポイントの減少と、わずかではありますが改善の方向にあります。

令和元年度末までの目標値50.0%に対して実績値が43.7%であり、達成率は87.4%です。

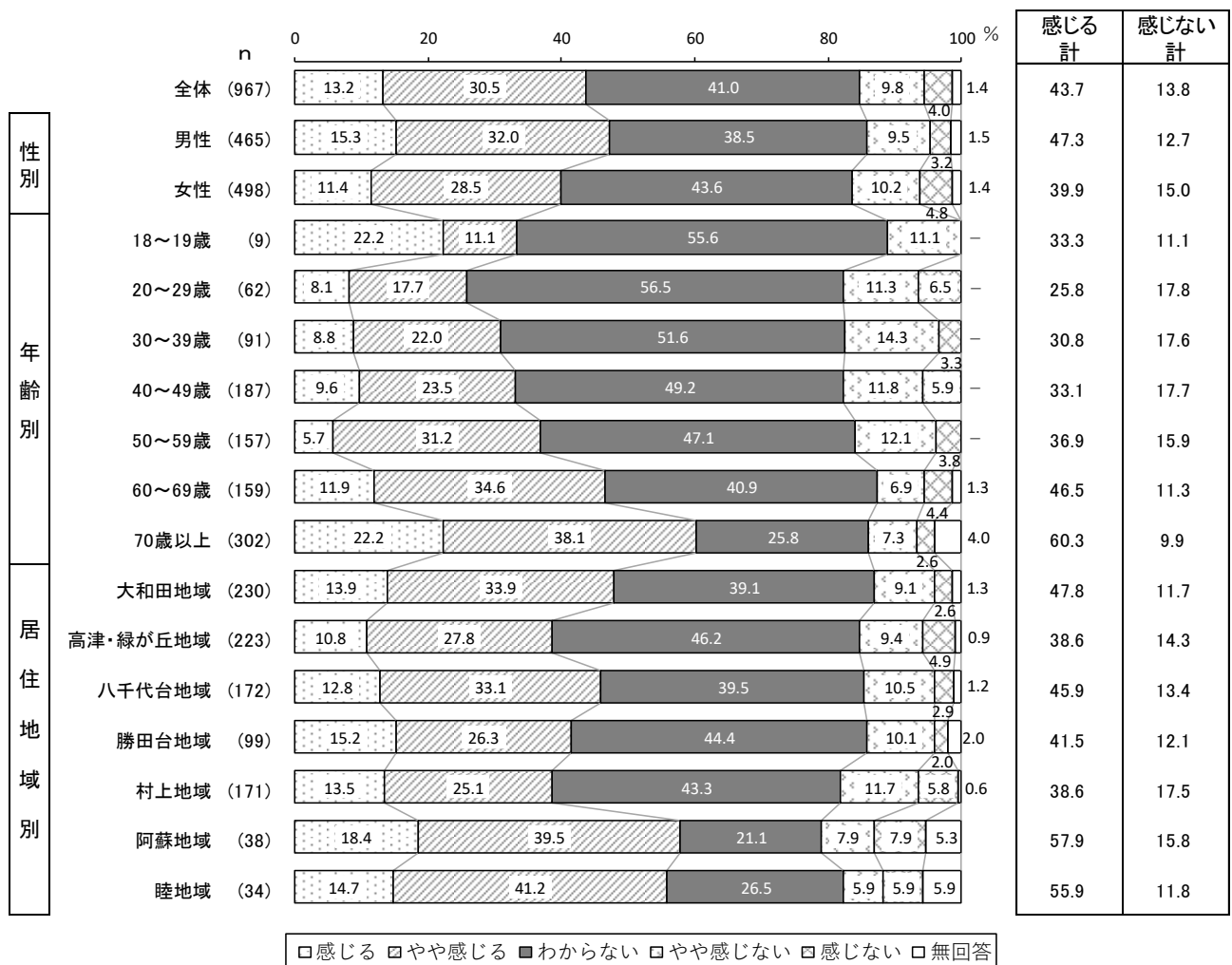
第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は、男性（47.3%）が女性（39.9%）を7.4ポイント上回っています。「わからない」の割合は、女性が43.6%で、男性の38.5%を5.1ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は、年齢が高い層ほど多くなり、70歳以上では60.3%と最も多く、「わからない」の割合は年齢が低い層ほど多い傾向です。

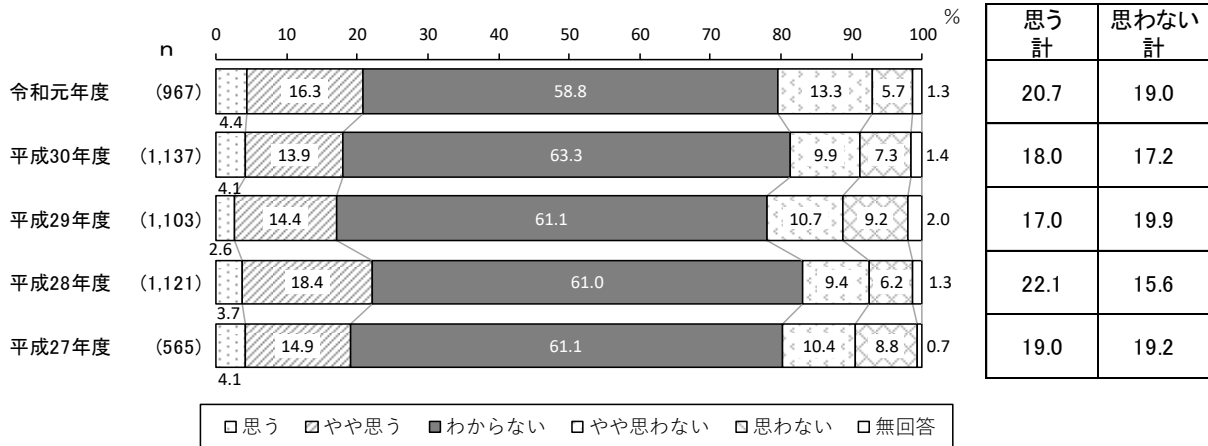
居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は、阿蘇地域、睦地域でそれぞれ57.9%、55.9%と特に多く、一方、「わからない」の割合は、高津・緑が丘地域で46.2%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(6)「災害に備えた対策」について

【問10】 市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？



令和元年度末 目標値: 33.9 %
 令和元年度 実績値: 20.7 %

本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思うかについては、「思う」(4.4%)、「やや思う」(16.3%)を合わせた<思う 計>の割合は20.7%となっており、一方、「思わない」(5.7%)、「やや思わない」(13.3%)を合わせた<思わない 計>の割合は19.0%となっています。また、「わからない」が58.8%と最も多く、他の設問と比較しても、割合が多い結果となっています。

平成30年度と比較すると、<思う 計>は2.7ポイント増加した一方で、<思わない 計>も1.8ポイント増加しています。

令和元年度末までの目標値33.9%に対して実績値が20.7%であり、達成率は61.1%です。

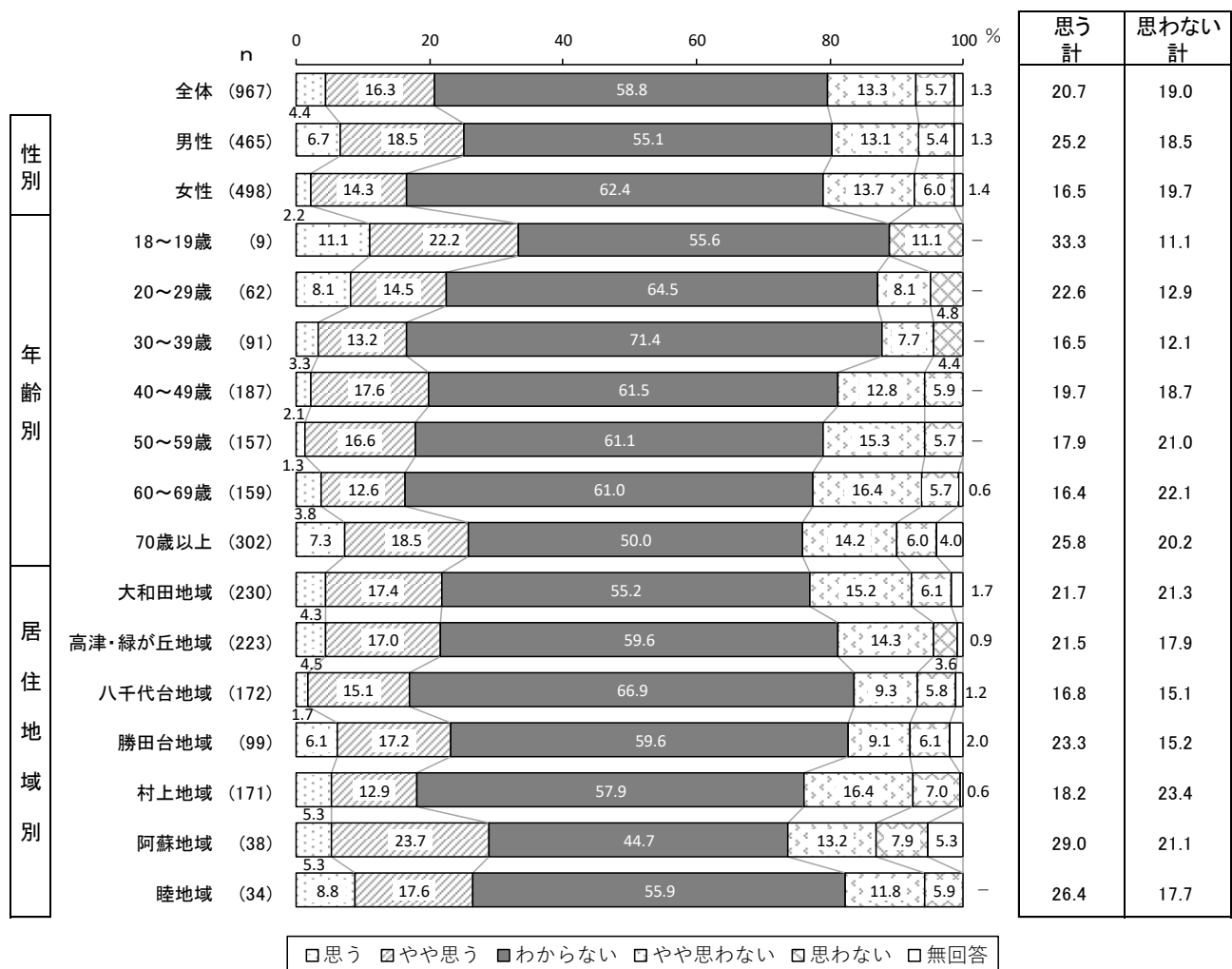
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思う 計〉の割合は、男性（25.2%）が女性（16.5%）を8.7ポイント上回っています。「わからない」の割合は、女性が62.4%で、男性の55.1%を7.3ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は、回答者が少ない18～19歳を除くと、70歳以上が25.8%と最も多くなっている一方で、〈思わない 計〉の割合は、60～69歳で22.1%と最も多くなっています。また、「わからない」の割合は、30～39歳で71.4%と最も多くなっています。

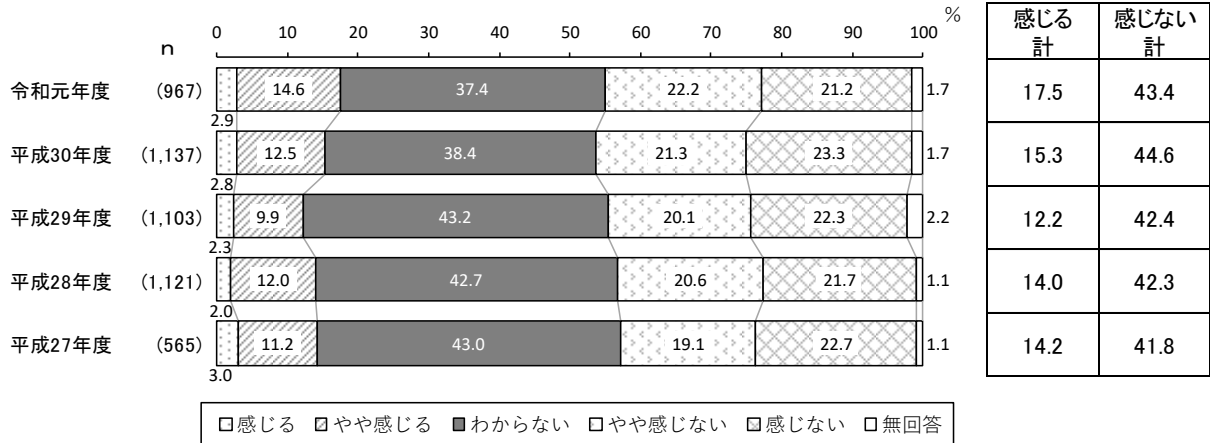
居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は、阿蘇地域、睦地域でそれぞれ29.0%、26.4%と特に多く、〈思わない 計〉の割合は、村上地域で23.4%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(7)「公共交通不便地域における高齢者の移動」について

【問 11】 市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？



| | |
|-------------|--------|
| 令和元年度末 目標値: | 23.5 % |
| 令和元年度 実績値: | 17.5 % |

本市は交通弱者にやさしい交通環境だと感じるかについては、「感じない」(21.2%)、「やや感じない」(22.2%)を合わせた<感じない 計>の割合が43.4%となっており、「感じる」(2.9%)、「やや感じる」(14.6%)を合わせた<感じる 計>の割合17.5%を25.9ポイント上回っています。

平成30年度と比較すると、<感じる 計>は2.2ポイント増加し、<感じない 計>は1.2ポイント減少しており、わずかながら改善の方向にあります。

令和元年度末までの目標値23.5%に対して実績値が17.5%であり、達成率は74.5%です。

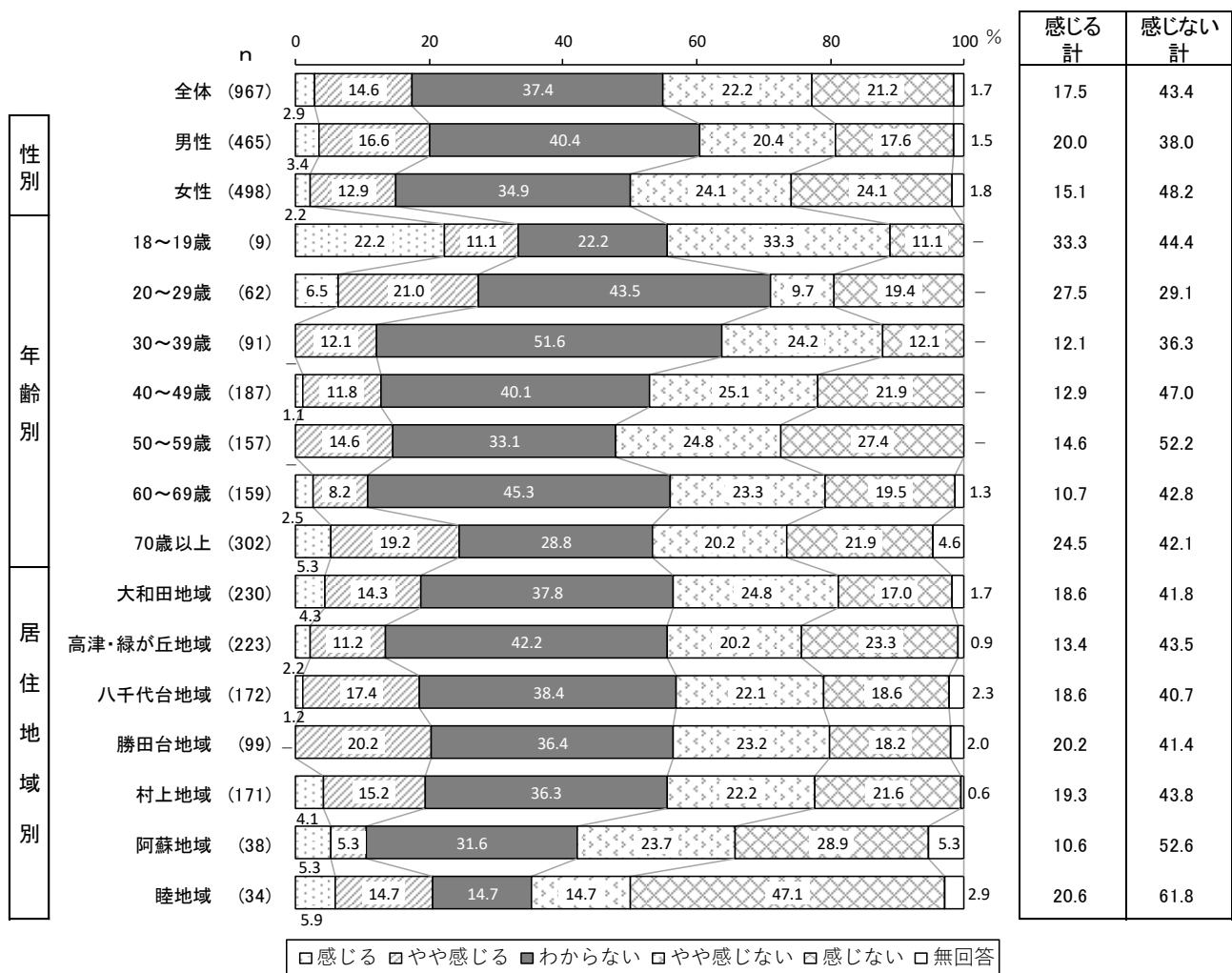
第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は、男性（20.0%）が女性（15.1%）を4.9ポイント上回り、＜感じない 計＞の割合は、女性（48.2%）が男性（38.0%）を10.2ポイント上回っており、女性の方が厳しい評価となっています。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は、回答者が少ない18～19歳を除くと、20～29歳が27.5%と最も多く、＜感じない 計＞の割合は、50～59歳で52.2%と最も多くなっています。

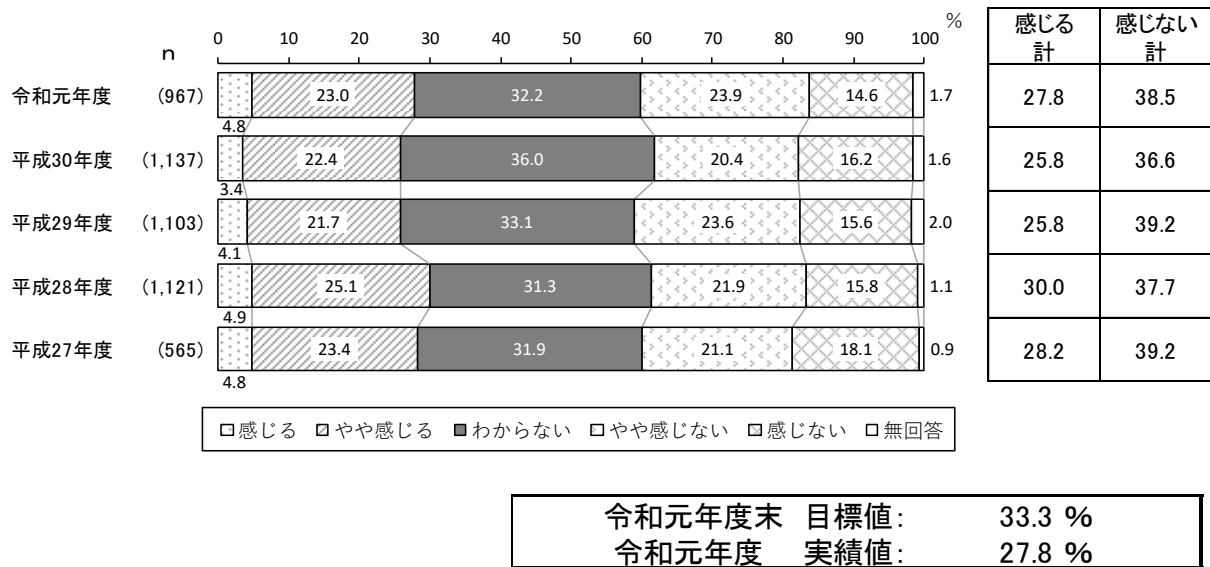
居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は、睦地域、勝田台地域で2割と多いですが、＜感じない 計＞の割合は、睦地域で61.8%と最も多く、次に阿蘇地域で52.6%となっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(8)「防災・生活情報の得やすさ」について

【問12】 市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいます。あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？



防災・生活情報が得やすいと感じるかについては、「感じない」(14.6%)、「やや感じない」(23.9%)を合わせた<感じない 計>の割合が38.5%で、「感じる」(4.8%)、「やや感じる」(23.0%)を合わせた<感じる 計>の割合27.8%を10.7ポイント上回っています。

平成30年度と比較すると、<感じる 計>は2.0ポイント増加した一方で、<感じない 計>も1.9ポイント増加しています。

令和元年度末までの目標値33.3%に対して実績値が27.8%であり、達成率は83.5%です。

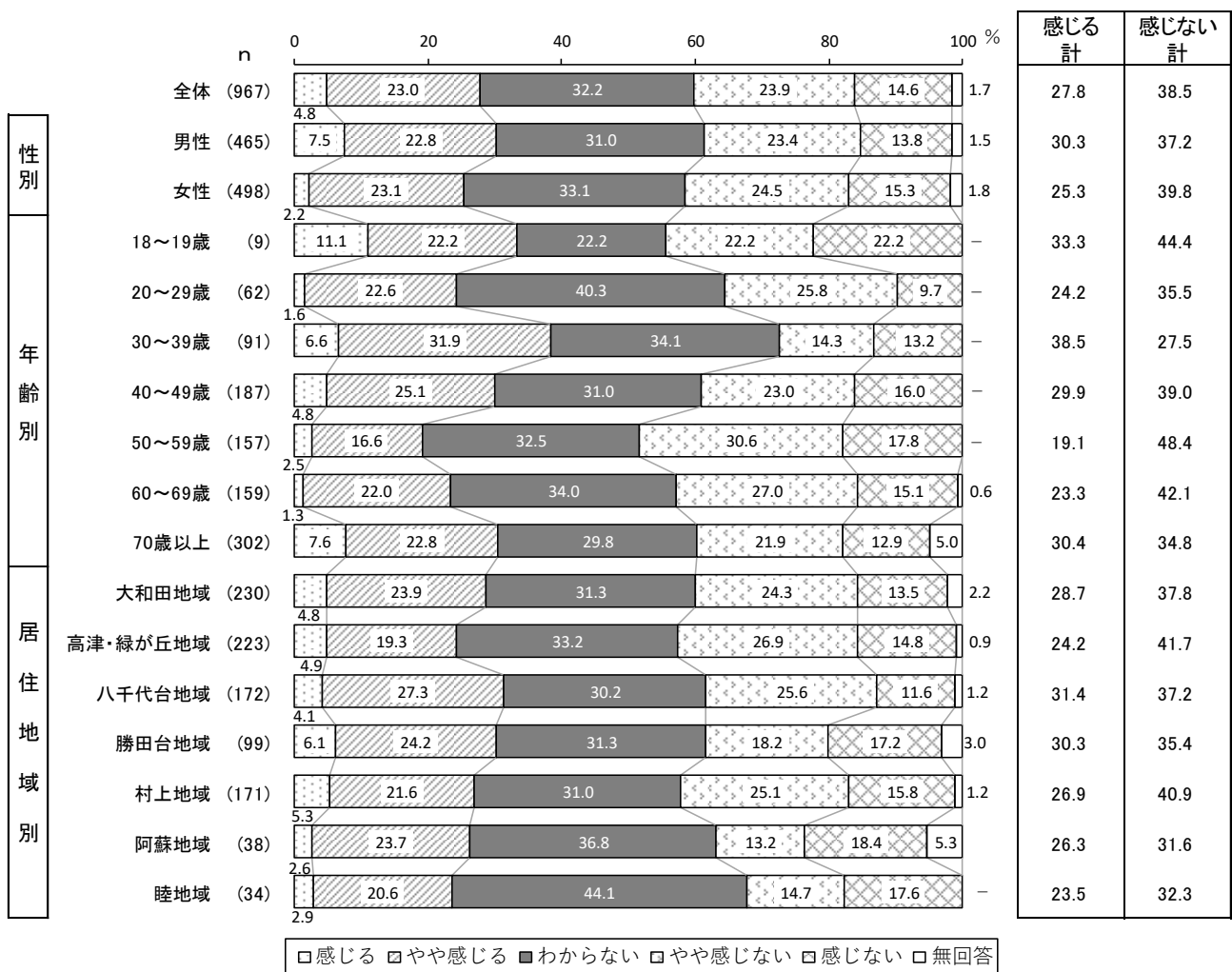
第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は、男性（30.3%）が女性（25.3%）を5.0ポイント上回り、＜感じない 計＞の割合は、女性（39.8%）が男性（37.2%）を2.6ポイント上回っており、女性の方がやや厳しい評価となっています。

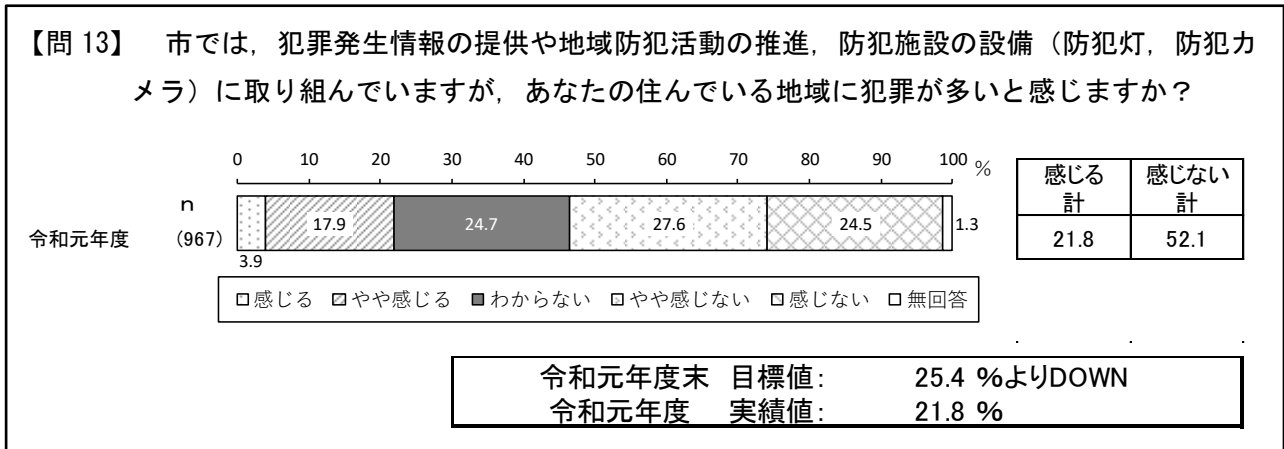
年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は、30～39歳で38.5%と最も多く、＜感じない 計＞の割合は、50～59歳で48.4%と最も多くなっています。

居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は、八千代台地域で31.4%、勝田台地域で30.3%と比較的に多く、＜感じない 計＞の割合は、高津・緑が丘地域で41.7%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(9)「地域の犯罪の多さ」について



住んでいる地域に犯罪が多いと感じるかについては、「感じない」(24.5%)、「やや感じない」(27.6%)を合わせた「感じない 計」の割合が52.1%で、「感じる」(3.9%)、「やや感じる」(17.9%)を合わせた「感じる 計」の割合21.8%を大きく上回っています。

令和元年度末までの目標値「25.4%よりDOWN」に対して実績値が21.8%で、達成しています。

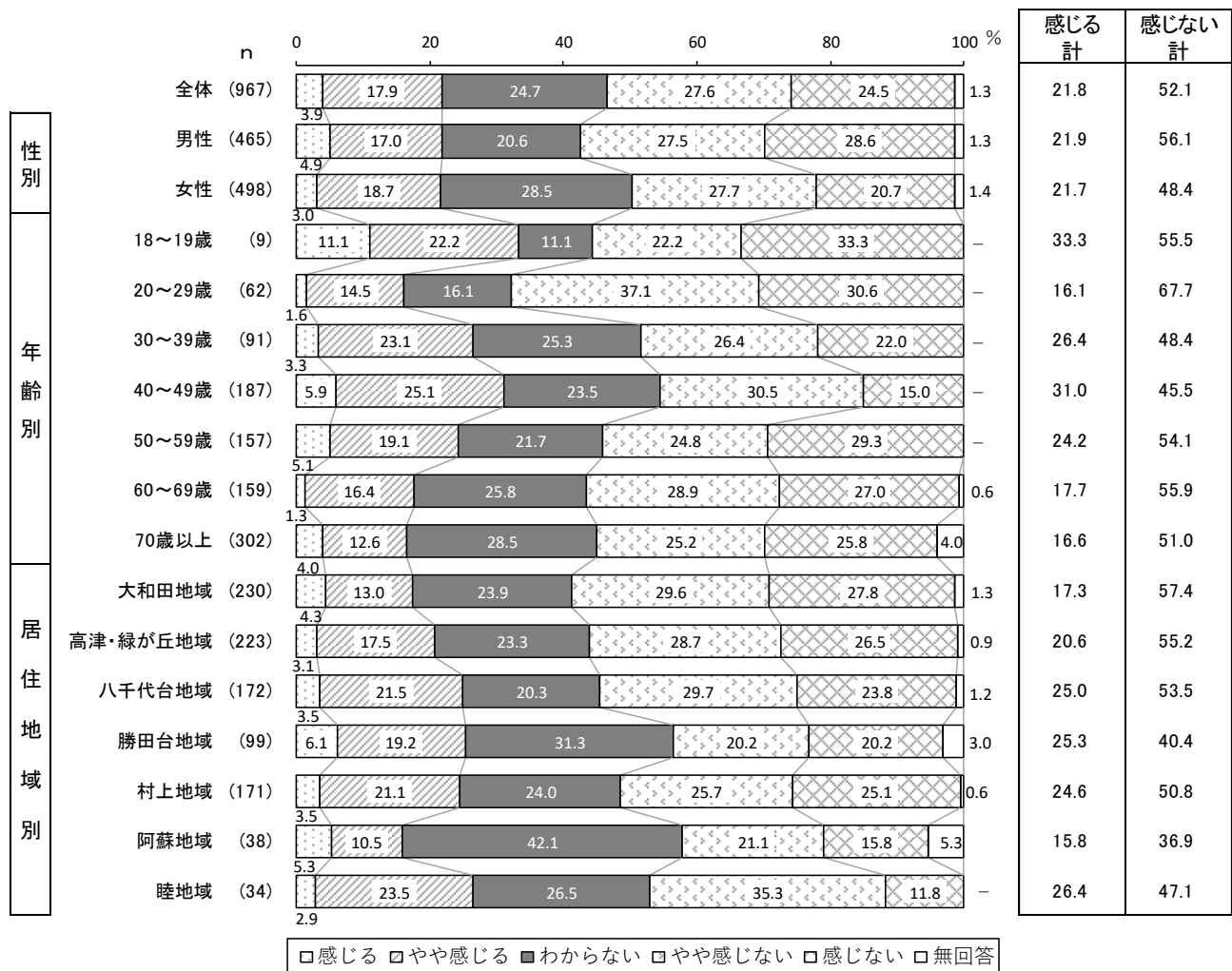
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈感じない 計〉の割合は、男性（56.1％）が女性（48.4％）を7.7ポイント上回り、〈感じる 計〉の割合も、男性（21.9％）が女性（21.7％）を0.2ポイント上回っています。

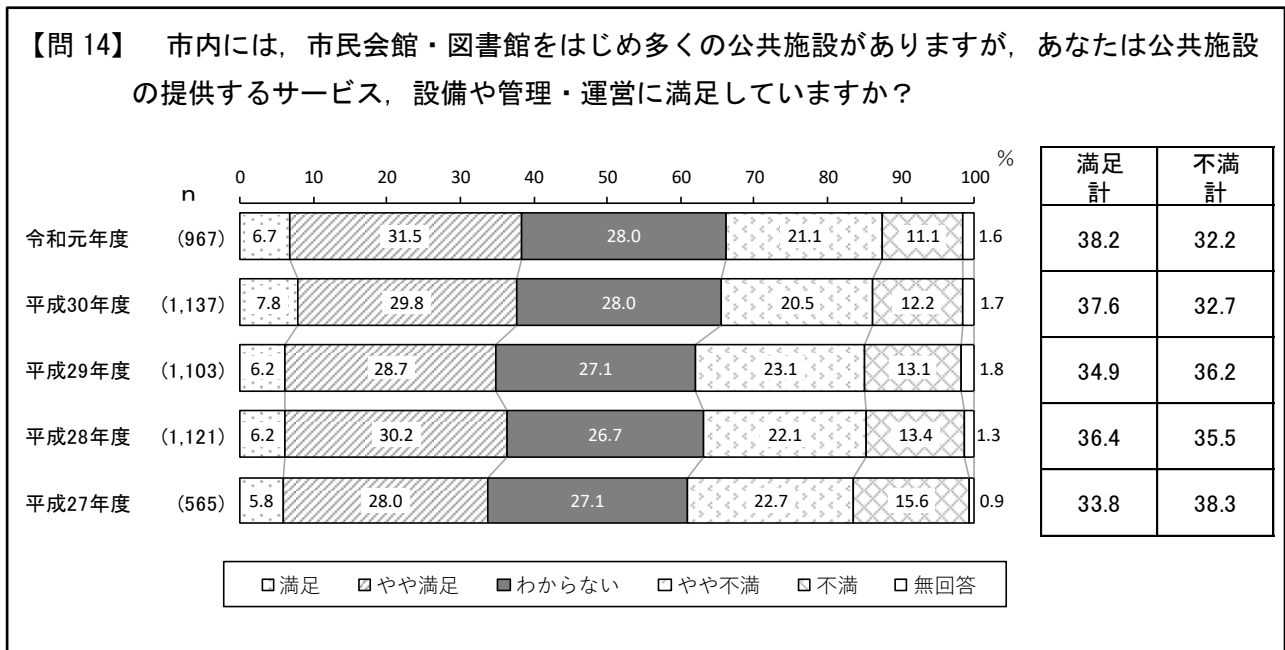
年齢別にみると、〈感じない 計〉の割合は、20～29歳で67.7％と最も多く、〈感じる 計〉の割合は、回答者の少ない18～19歳を除くと、40～49歳で31.0％と最も多くなっています。

居住地域別にみると、〈感じない 計〉の割合は、大和田地域で57.4％と最も多く、〈感じる 計〉の割合は、睦地域で26.4％と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(10) 公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度について



公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足しているかについては、「満足」(6.7%)、「やや満足」(31.5%)を合わせた<満足 計>の割合が38.2%で、「不満」(11.1%)、「やや不満」(21.1%)を合わせた<不満 計>の割合32.2%を6.0ポイント上回っています。

平成30年度と比較すると、<満足 計>は0.6ポイント増加し、<不満 計>は0.5ポイント減少しています。

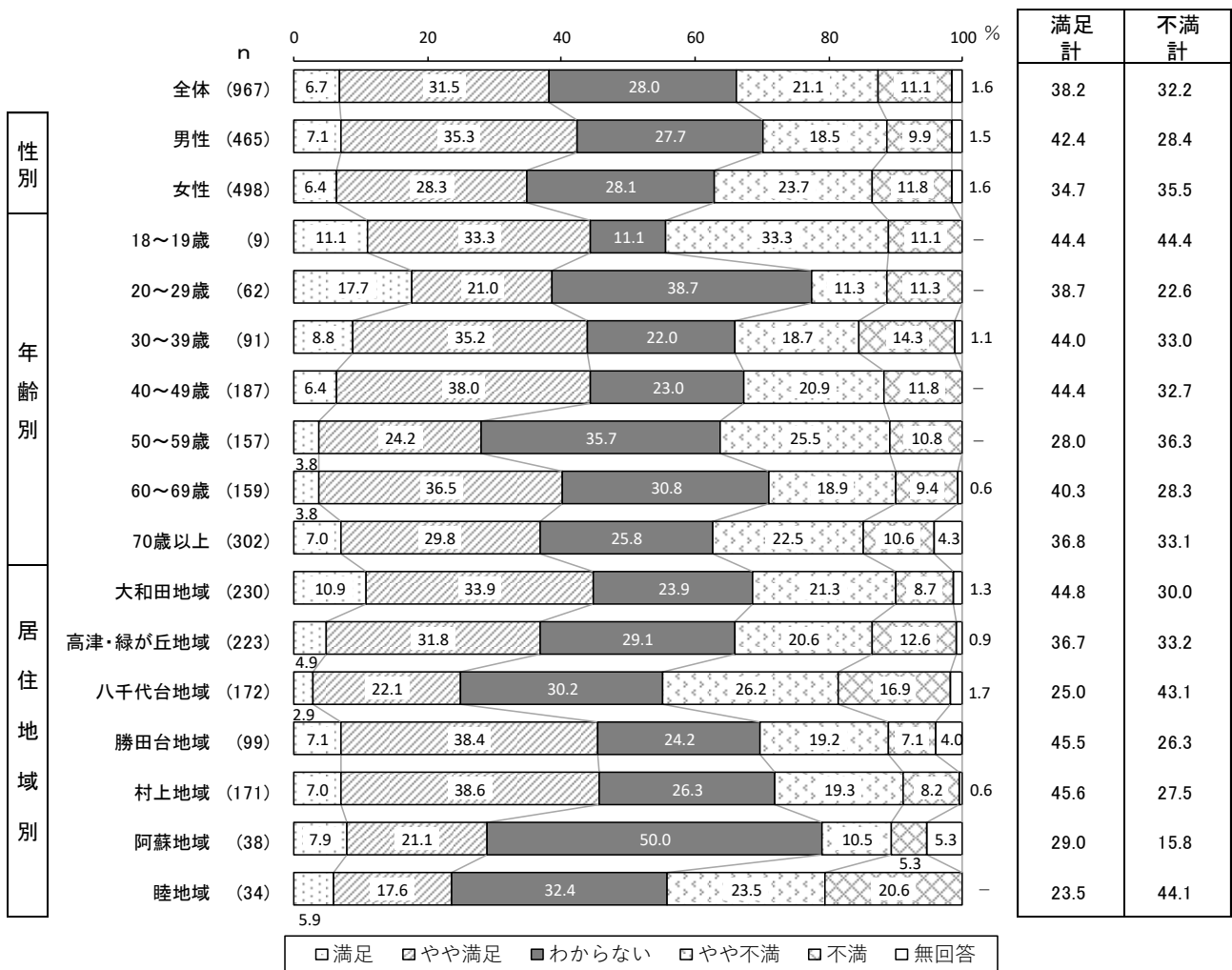
第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜満足 計＞の割合は、男性（42.4%）が女性（34.7%）を7.7ポイント上回っており、＜不満 計＞の割合は、女性（35.5%）が男性（28.4%）を7.1ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜満足 計＞の割合は、回答者の少ない18～19歳を除くと40～49歳で44.4%と最も多く、＜不満 計＞の割合は、50～59歳で36.3%と最も多くなっています。

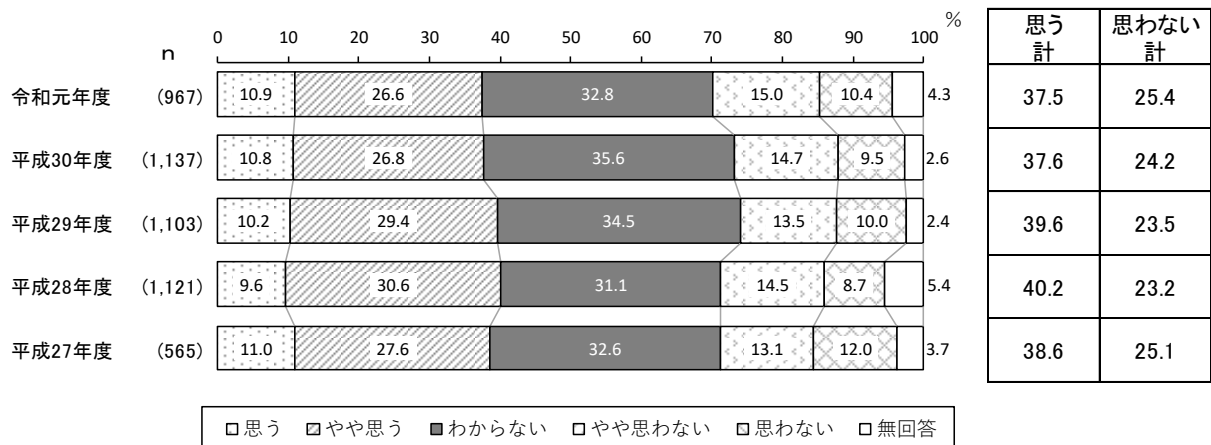
- 居住地域別にみると、＜満足 計＞の割合は、村上地域、勝田台地域、大和田地域で4割台半ばと比較的多く、＜不満 計＞の割合は、睦地域で44.1%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(11)「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

【問 15】 平成 28 年 3 月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問 5 から問 14 までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？



総合戦略を実施することが人口減少の抑制に効果があると思うかについては、「思う」(10.9%)、「やや思う」(26.6%)を合わせた<思う 計>の割合が37.5%で、「思わない」(10.4%)、「やや思わない」(15.0%)を合わせた<思わない 計>の割合25.4%を12.1ポイント上回っています。

平成30年度と比較すると、<思う 計>は0.1ポイント減少し、<思わない 計>が1.2ポイント増加しています。

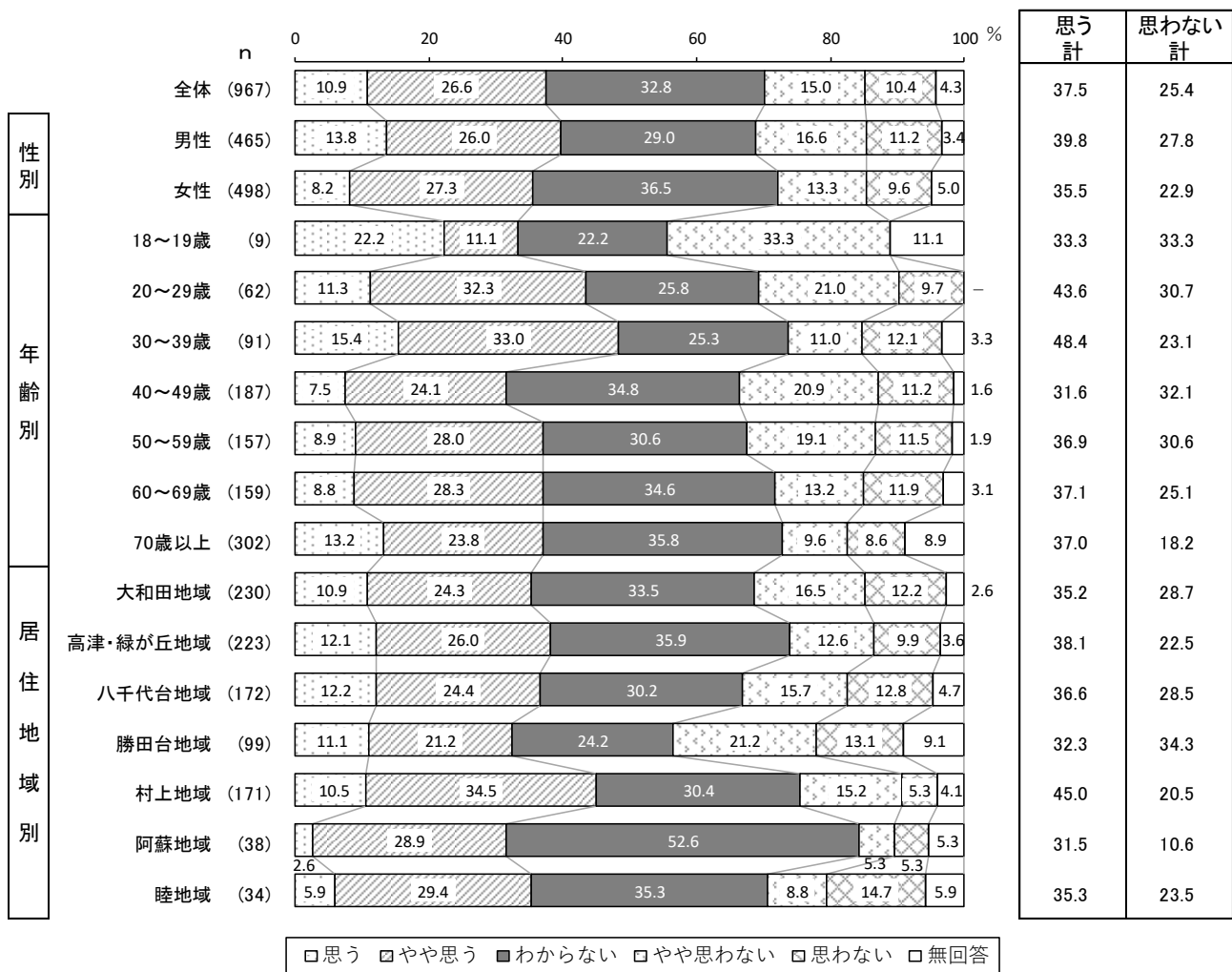
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思う 計〉の割合は、男性（39.8%）が女性（35.5%）を4.3ポイント上回り、〈思わない 計〉の割合も、男性（27.8%）が女性（22.9%）を4.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は、30～39歳で48.4%と最も多く、〈思わない 計〉の割合は、回答者の少ない18～19歳を除くと40～49歳で32.1%と最も多くなっています。

居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は、村上地域で45.0%と最も多く、〈思わない 計〉の割合は、勝田台地域で34.3%と最も多くなっています。

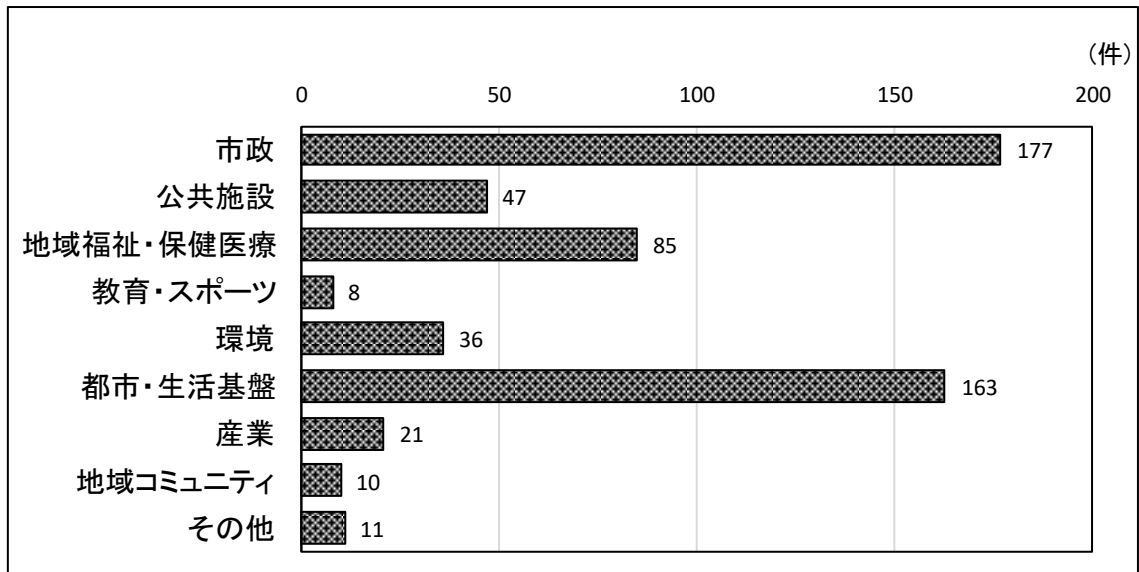
■性別/年齢別/居住地域別



(12) 八千代市へのご意見・ご要望

【問 16】 今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

八千代市へのご意見・ご要望については、558 人の方にご記入いただきました。その内容分類別の件数は以下のとおりです。



第3章 調査票

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査

市民の皆様には、日頃より市政に対しましてご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

このたび、将来の人口減少対策として平成27年度から令和元年度までの市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標の達成状況（満足度を把握するための調査を実施することといたしました）。

調査票は、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を抽出して送付しております。抽出は、年齢、性別、地域それぞれの人口割合に近い値で行っています。

お答えいただきました調査結果は市ホームページ等で公表しますが、設問は市に対する印象等に関するものが主であり、個人の特定につながるものではありません。

ご回答のために貴重なお時間をいただくことになり、まことに恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、「八千代市人口ビジョン」及び「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容につきましては、別添の概要版及び八千代市のホームページをご覧ください。

令和元年12月

八千代市長 服部友則

- 1 この調査は、できるだけ宛名の方ご本人がご記入ください。
- 2 この調査は無記名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
- 3 各設問の該当する選択肢の番号に○を付けてください。
- 4 調査の結果は、市のホームページなどで公表いたします。
- 5 ご記入いただきました調査票は、
令和2年1月17日（金曜日）までに、
 同封した返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。
- 6 調査の内容等について、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

（問合せ先）■八千代市 企画部 企画経営課 企画政策班

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5

電話 (047) 483 -1151 内線 2332・2333

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査

あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】あなたの性別は、次のどちらですか？

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 男 | 2 | 女 |
|---|---|---|---|

【問2】あなたの年齢は、次のうちどれですか？

| | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 18 ～ 19 歳 | 5 | 50 ～ 59 歳 |
| 2 | 20 ～ 29 歳 | 6 | 60 ～ 69 歳 |
| 3 | 30 ～ 39 歳 | 7 | 70 歳以上 |
| 4 | 40 ～ 49 歳 | | |

【問3】あなたの職業は、次のうちどれですか？

| | | | |
|---|-----|---|-----------------------------|
| 1 | 会社員 | 5 | 専業主婦または主夫 |
| 2 | 自営業 | 6 | 学生 |
| 3 | 農業 | 7 | 無職 |
| 4 | 公務員 | 8 | その他（ ） |

【問4】あなたのお住まいは、次のうちどこですか？

| | 地区 | 該当町丁目・街区 |
|----|------------|---|
| 1 | 大和田地区 | 大和田・萱田・萱田町 |
| 2 | ゆりのき台地区 | ゆりのき台1丁目～8丁目 |
| 3 | 大和田新田(A)地区 | 大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区 |
| 4 | 大和田新田(B)地区 | 大和田新田上区等、高津中学校又は東高津中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区 |
| 5 | 高津・緑が丘地区 | 高津・高津東1丁目～4丁目・緑が丘1丁目～5丁目 緑が丘西1丁目～8丁目 |
| 6 | 八千代台東南地区 | 八千代台東1丁目～6丁目・八千代台南1丁目～3丁目 |
| 7 | 八千代台西北地区 | 八千代台西1丁目～10丁目・八千代台北1丁目～17丁目 |
| 8 | 勝田台地区 | 勝田台1丁目～7丁目・勝田・勝田台南1丁目～3丁目 |
| 9 | 村上地区 | 村上・村上南1丁目～5丁目・下市場1丁目～2丁目・ 上高野・勝田台北1丁目～3丁目 |
| 10 | 阿蘇地区 | 米本・神野・保品・下高野・堀の内 |
| 11 | 睦地区 | 桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・ 佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町1丁目～6丁目 |
| 12 | 米本団地地区 | 米本団地1街区～5街区 |
| 13 | 高津団地地区 | 高津団地1街区～7街区 |
| 14 | 村上団地地区 | 村上団地1街区～3街区 |

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

八千代市では、将来の人口減少対策として今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を掲げる「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年3月に策定しました。

次の設問から、「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する設問となります。

【問5】「八千代市のイメージ」についてお尋ねします。

本市は、都心から30 km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。

また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？

| | | | | |
|------|--------|---------|----------|--------|
| 1 思う | 2 やや思う | 3 わからない | 4 やや思わない | 5 思わない |
|------|--------|---------|----------|--------|

【問6】「八千代市の活性化」についてお尋ねします。

まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？

| | | | | |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 わからない | 4 やや感じない | 5 感じない |
|-------|---------|---------|----------|--------|

【問7】「新川周辺の活性化」についてお尋ねします。

市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？

| | | | | |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 わからない | 4 やや感じない | 5 感じない |
|-------|---------|---------|----------|--------|

【問8】「地域活動」についてお尋ねします。

地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？

| | | | | |
|------|--------|---------|----------|--------|
| 1 思う | 2 やや思う | 3 わからない | 4 やや思わない | 5 思わない |
|------|--------|---------|----------|--------|

【問 9】「地域消防・救急体制」についてお尋ねします。

市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？

| | | | | |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 わからない | 4 やや感じない | 5 感じない |
|-------|---------|---------|----------|--------|

【問 10】「災害に備えた対策」についてお尋ねします。

市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？

| | | | | |
|------|--------|---------|----------|--------|
| 1 思う | 2 やや思う | 3 わからない | 4 やや思わない | 5 思わない |
|------|--------|---------|----------|--------|

【問 11】「公共交通不便地域における高齢者の移動」についてお尋ねします。

市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？

| | | | | |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 わからない | 4 やや感じない | 5 感じない |
|-------|---------|---------|----------|--------|

【問 12】「防災・生活情報の得やすさ」についてお尋ねします。

市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいますが、あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？

| | | | | |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 わからない | 4 やや感じない | 5 感じない |
|-------|---------|---------|----------|--------|

【問 13】「地域の犯罪の多さ」についてお尋ねします。

市では、犯罪発生情報の提供や地域防犯活動の推進、防犯施設の整備（防犯灯、防犯カメラ）に取り組んでいますが、あなたの住んでいる地域に犯罪が多いと感じますか？

| | | | | |
|-------|---------|---------|----------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 わからない | 4 やや感じない | 5 感じない |
|-------|---------|---------|----------|--------|

【問 14】公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度についてお尋ねします。

市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？

| | | | | |
|------|--------|---------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 わからない | 4 やや不満 | 5 不満 |
|------|--------|---------|--------|------|

【問 15】「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてお尋ねします。

平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問5から問13までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？

| | | | | |
|------|--------|---------|----------|--------|
| 1 思う | 2 やや思う | 3 わからない | 4 やや思わない | 5 思わない |
|------|--------|---------|----------|--------|

【問 16】今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

ご記入いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月17日（金）までに郵便ポストへ投函してください。

【問合せ先】

八千代市 企画部 企画経営課 企画政策班

電話 047-483-1151 内線 2332・2333



やっち